

県を中心に公共・民間施設などに売り込みを強化している。

「新エネルギー推進部」

は、研究開発を主導するイソフラー技術研究所内にあつた新エネルギー研究グループを母体に新設した。民間企業や地方自治体向けにエネルギー関連のコンサルタントサービスを提供する。

ふじおやまパワー・エナジーは、静岡県小山町で行う木質バイオマス発電所の管理運営を手掛かりに、今後は発電事業だけでなく地域のエネルギー・マネジメント、地元農家と協業したレストラン運営など、地域創生事業に発展させる。新井社長はエネルギー分野の将来展望として「ふじおやまパワー・エナジーのような新会社を設し、社内に数十人の社長をつくりたい」と述べた。

三洋貿易は、共同出資でバイオマス発電の管理運営会社「ふじおやまパワー・エナジー」を設立した。

大日本コンサルタントと三洋貿易は、共同出資でバ

イオマス発電の管理運営会社「ふじおやまパワー・エナ

ジー」を設立した。

新会社は資本金1000万円で、出資比率が大日本

コンサルタント80%、三洋貿易20%。本社は静岡県小山町。小川町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

エネルギー・水素を活用した掛けるトオヤマ(岐阜市、生可能エネルギー事業で他工エネルギー供給事業を設立。遠山重徳社長)と共に出資社と協業し新会社を立ち上げるのは、今回が2例目となる。

「清流パワーエナジー」を設立している。再

なる。

なる。

どの危険性を面的に予測し、あらゆる災害から住民が最も安全に避難できる経路を提供する。新井社長は「自然災害が多発し、これからこうした技術・サービスへのニーズが高くなる。当社のブランド技術にしたい」と説明した。

18年6月期業績は、受注高164億45百万円(11・8%増)、売上高142億23百万円(前期比3・2%減)、営業利益8億70百万円(28・1%増)で、受注高は過去最高となつた。

再生エネで合同会社 大日本コンサルと三洋貿易

大日本コンサルタントと三洋貿易は、共同出資でバ

イオマス発電の管理運営会社「ふじおやまパワー・エナ

ジー」を設立した。

新会社は資本金1000万円で、出資比率が大日本

コンサルタント80%、三洋貿易20%。本社は静岡県小山町。小川町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区

に位置する。将来は静岡県小山町が湯船原地区